

朝礼より

(2月2日)



みなさん、おはようございます。今日は令和7年度の最後の朝礼です。そして、3年生は都立推薦の発表の日ですから、この朝礼の場所に来れない人もいますね。残念ですが話を進めることにします。今日の話は「運についての話をしたいと思います。

みなさんは、自分のことを「運がいい人」だと思いますか。それとも、「どちらかといふと運が悪い」と思つてゐるでしょか。

今日は、雑誌『プレジデン』ト』に掲載されていた、脳科学者・西剛志(にしだゆき)さんのお話を、私が皆さんに紹介します。西先生は、これまで多くの成功している人、たとえば経営者やトップアスリート、各界で活躍している人たちに、ある質問をしてきたそうです。それは、「あなたは、自分のことを運がいいと思いますか?」という質問です。すると、

みなさん、おはようございます。今日は令和7年度の最後の朝礼です。そして、3年生は都立推薦の発表の日ですから、この朝礼の場所に来れない人もいますね。残念ですが話を進めることにします。今日の話は「運についての話をしたいと思

います。西先生自身、もともとほ

「運」という言葉に少し懐疑的だったそうです。運なんて、ただの確率の問題であつて、科学が扱うものではない、と考へていたそ

うです。ところが、脳の働きと人のパフォーマンスを研究する中で、はつきりとし

た一つの考えにたどり着きました。それは、成功とは、

必要な場面で最高のパフォー

マンスを發揮し、望む結果

を出すことだ、ということ

です。そして、成功してい

る人たちは、「自分は運が

いい」と思い込むことで、

脳のパフォーマンスを最大

限に引き出し、結果として

成功をつかんでいる、とい

うことです。つまり、「運がいい」と思つてゐるのではありません。本気で、心からそう信じているのだそうです。

一方で、なかなかうまくい

かない人や、不運が続いて

いると感じている人は、

「自分はなんて運が悪い

だらう」と、よく「にしま

す。

西先生自身、もともとほ

ううん。では、もう一

度だけ、今度は「緑色のも

のを探そう」と思つて、周

りを見つめてください。

……どうでしようか。さつ

きより、「あ、ここにもあつ

た」「あそこにもあつた」

と、いくつも見つかります

よね。

人の脳は、世界中のすべ

ての情報を処理できません。

だから、「自分にとつて大

事だ」と判断した情報だけ

を拾い、それ以外は自然と

無視する仕組みになつてい

ます。

これが、人生のチャンス

にも当てはまります。運が

いい人、成功している人は、

「自分は何をしたいのか

」「どうなりたいのか」

という大切な性質を紹介して

います。ここで、みなさん

に少し実験をしてみたいと

思います。今から、体育館

の中をぐるっと一度見回し

てみてください。天井、壁、

床、周りの人たち、どこで

もいです。

……では、10秒ほど時間を

あげます。

はい、時間です。元に戻っ

て、こちらを向いてください。

い。では、質問です。

今いるこの空間に、緑色

のものはいくつありました

か?どうでしょう。正確に

答える人は、ほとんど

いませんね。では、もう一

度だけ、今度は「緑色のも

のを探そう」と思つて、周

りを見つめてください。

……どうでしようか。さつ

きより、「あ、ここにもあつ

た」「あそこにもあつた」

と、いくつも見つかります

よね。

人の脳は、世界の偶然

が重なる確率を、名付けの

運は、生まれつき決まつ

ているものではありません。

「自分は運がいい」と思つ

ています。この無意識の思

い込みが、脳の働きに強い

影響を与えていたのです。

反対に、成功している人

たちは、「自分は運がいい」

という前提を持つことで、

行動を変え、結果を変えで

いく。学校生活でも同じで

す。「自分は運がいいだ

と思うのか、「きっと自分

はうまくいく」と思うのか

で、あなたの脳の働きも、

行動も、未来も、少しずつ

変わつてきます。今日か

らぜひ、「自分は、意外と

運がいいかもしない

ます。

これが、人生のチャンス

にも当てはまります。運が

いい人、成功している人は、

「自分は何をしたいのか

」「どうなりたいのか」

という目標がはつきりして

てから行うと、高齢の方で

も、若い人ほど変わ

らない成績が出ました。と

ころが、まったく同じ内容

のテストで、「これは、記憶力のテストです」とはつ

きり伝えてから行うと、高

齢者の成績だけが、がくん

としたかのようになります。

これが、人生の中でも

これほど幸運を、家族に

まつわる名という最も嬉しい形で、既に引き当ててしまつたからです。一生分のツキを全て使い果たしたと思えるほど、衝撃的で不思議な日の出来事でした。

私は先日、人生の中で類

を見ない驚くべき出来事を

経験しました。それは、そ

の日は校長室に来客があり、

別々の機会にお話した二名

の名前が、私の妻と娘の

名に、一点の曇りもなく重

なついたのです。

お一人は妻と漢字まで全

く同一、もう一人は34年前

父として願いを込めて名付

けた娘と同じ読みをもつ方

でした。

奇跡の確率

校長 滝澤清豪

私は先日、人生の中で類を見ない驚くべき出来事を経験しました。それは、その日は校長室に来客があり、別々の機会にお話した二名

の前に流れているチャンスに、脳の働きとして気づいているだけなのです。

スに、脳の働きとして気づ

けています。

それが、

思ひ

て

思ひ

て